

ユキノシタ (雪の下)

名前の意味^{いみ}：白い花を雪にたとえて、葉がその下にあるという意味

分類：双子葉類、ユキノシタ科、ユキノシタ属

(ユキノシタ科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：アジサイ)

好きな場所：日陰の湿った道ばた、庭

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生^{じせい})

特徴：地面をはう茎^{くき}、丸くてぎざぎざのある白い筋^{すじ}の入った葉、白い花

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数^{りべん}：離弁、5枚

花の時期：5—6月

見分け方：ツボクサは、葉の色が黄緑色^{きみどり}で、花は小さく緑色。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)